



車内の金城学院大学

149限目

「アンサンブルコンサート演習」

「オーケストラのチューニングの秘密？」

〔楽器の特性〕

オーケストラの演奏会に行くと、演奏が始まる前に楽器奏者が一斉に音を出し、チューニングを行う姿を見ることができます。開演前の高揚感を感じさせてくれるシーンですが、楽器は会場の温度や湿度によって音程が微妙に変化するため、演奏の直前に弦の張りや管の長さなどを調整し、各楽器の音程を合わせる必要があります。実は、このチューニングでは、まずはじめにオーボエが『A(ラ)』の音を出し、それを基準に全楽器が音程を合わせていきます。オーボエという楽器は、他の楽器と比べて音程をすぐに調整しにくい構造であり、事前に綿密なチューニングがされています。また、周囲によく響く音色を持っているため、オーケストラ全体の基準にしやすいのです。このように、楽器には構造上の特徴や固有の音色があり、演奏にまつわる様々な場面で、その特性が活かされているのです。

強く、優しく。

楽器の特性を知り、豊かな音楽表現を身につける。それが文学部 音楽芸術学科。



金城学院大学